

基本方針 4

【 学校・家庭・地域の役割と責任に基づいた連携を進める 】

子どもの教育にかかわる学校・家庭・地域の役割と責任が明確でなく、社会全体の教育力が低下しているという状況にあって、三者が教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚し、相互の連携と協力を努めることが求められている。

そのために、それぞれが、子どもの教育及び社会教育に関する情報や目標を共有し、互いに意見を交換し合いながら、積極的に教育に参加する体制づくりを推進する。

＝基本方針4を設定した意図＝

価値観が多様化している現在、学校だけで子どもの教育問題を解決できる状況ではなくなっている。また、核家族化が進む中、一人で子育てに悩む母親や、集団行動が苦手な子どもも増えている。そこでこれからは、家庭が子どもの教育の原点となり、地域が子どもの育ちを支え、学校は子どもの成長に必要な基礎的な力を学ぶ場として、それぞれの役割を自覚し、学校と家庭、地域が情報を共有し、すべての市民が教育を支えていくような仕組みづくりを進めていかなければならない。

調布市においても、児童虐待は依然として起きている。すべての子どもたちが、幸せな生活を送るためにも、家庭の教育力の向上は不可欠である。保護者が子育てに関する悩みや課題を一人で抱えることがないように、市民相互の連携を深め、関連機関とのかかわりを重視することに目を向けていかななくてはならない。教育委員会としては、関係部署や関連機関との情報の共有化や、対応策の検討などを今以上にきめ細かく行っていかなければならない。

学校は、保護者や地域の協力を得ながら子どもの安全・安心にかかわる見守りを行っている。また、平成24年度には、前年度に作成した震災時対応シミュレーションの検証や防災教育の充実を図ることを目的として、4月の第4土曜日を「調布市防災教育の日」と定め、学校・家庭・地域が一体となった防災教育と防災訓練を全校一斉に実施した。今後も自らの安全は自らが守るという自助意識と、地域でお互い助け合うという共助意識を醸成し、より効果的な震災時の対応が図れるよう「調布市防災教育の日」の検証を踏まえた防災教育と防災訓練に取り組んでいく必要がある。

また、職場体験・農業体験などの活動、部活動の指導補助、学習支援など教育活動を進めるうえでも保護者や地域から様々な協力を得ており、こうした連携は欠かせないものとなっている。平成21年度には学校を家庭や地域で協力して支えることを目的とした「学校支援地域本部モデル校」に第八中学校を、また、平成23年度には深大寺小学校、平成24年度には若葉小学校を指定し、地域の教

育力を学校の教育活動充実に積極的に生かす取組を進めてきた。その中で、教育活動の活性化につながる地域の人材の発掘や育成の重要性が明らかになってきた。今後は、この取組の成果を調布市内の各学校に広げていく必要がある。

こうした背景の下、基本方針4では、学校・家庭・地域の役割と責任に基づいた連携を進める、を柱とし、施策につなげていくこととした。

施策17 地域・保護者に開かれた学校にかかわる取組

学校の教育活動について、自己評価だけでなく、学校関係者による評価や有識者による学校第三者評価を実施することにより、学校評価の客観性や透明性の向上を図り、地域住民の信頼に応えるとともに、説明責任を果たすことのできる学校経営・学校運営を推進する。

また、子どもたちの健やかな成長には、学校・家庭・地域が一体となって教育を進めることが重要であり、互いの意思疎通を図り、学校にかかりがちな過大な負荷を軽減する必要がある。若手教員が増加する中、これらの問題の解決に向けて、学校をサポートする体制づくりについて検討する。

主要事業 105 学校評議員制度の実施

《事業のねらい》

教育活動、学校評価、学校・家庭・地域との連携などの学校運営に関し、校長の求めに応じて意見を述べ、学校を支援する学校評議員制度を継続して実施する。

【5年間の取組予定】 ○継続事業 (事業主管課:指導室)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施・点検評価	点検評価を受け見直し実施	----->			

主要事業 106 学校関係者評価の実施

《事業のねらい》

保護者、学校評議員、近隣学校等の教職員等で構成する学校関係者評価委員会が、学校が行う自己評価の結果を評価することにより、自己評価の客観性・透明性を高めるとともに、学校の現状と課題について学校及び地域が共通理解を深め、学校運営の改善への協力を促進する。

【5年間の取組予定】 ○継続事業 (事業主管課:指導室)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施・点検評価	点検評価を受け見直し実施	----->			

主要事業 107 学校第三者評価の実施

《事業のねらい》

学識経験者，企業経営者，学校教育に携わる管理職経験者で構成する学校第三者評価委員会が，調布市立学校における教育活動等学校運営の状況について，客観的立場から評価し，学校運営の改善等を図る。

【5年間の取組予定】 ○継続事業 (事業主管課：指導室)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施・点検評価	点検評価を受け見直し実施	----->			

主要事業 108 専門家による学校サポート体制の検討

《事業のねらい》

学校内で発生したさまざまなトラブルについて，学校と保護者・地域との間で速やかな解決が図れない場合に，双方に利害関係のない第三者の専門家がかわることによって解決につなげるためのサポート体制づくりについて検討する。

【5年間の取組予定】 ★新規事業→○継続事業

(事業主管課：指導室)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	検討	----->			

施策 18 家庭・地域の教育力の向上・活用に向けた取組

地域のボランティアの活用や学校と地域を結ぶ学校支援のネットワークづくりを進めることにより、地域の人材を活用した特色ある教育活動を推進する。

また、地域住民の自主的な社会教育活動の支援に努め、地域活性化につなげる。

主要事業 109 学校ボランティア・協力員の活用

《事業のねらい》

教育活動を補助・支援する学校ボランティア・協力員を活用することにより、学校における教育活動の充実を図る。

【5年間の取組予定】 ○継続事業 (事業主管課:指導室)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施・点検評価	点検評価を受け見直し実施	----->			

※学校ボランティアは調布市の制度の名称で、一般的にいう学校支援ボランティアと同じ。

主要事業 110 学校支援地域本部制度の活用の検討(地域人材を活用した教育活動推進)

《事業のねらい》

保護者・地域住民が学校支援ボランティアとして、地域の実情に応じて学校教育活動を支援し、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進する学校支援地域本部制度の活用について委員会を設置して検討する。

【5年間の取組予定】 ★新規事業 →平成25年度から ◆計画事業 (事業主管課:指導室)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
/				検討	----->
				【調布市基本計画に位置付けた基本計画事業】	

主要事業 111 公立学校 PTA 連合会活動への支援

《事業のねらい》

学校教育，社会教育に関して学校と家庭との連携を図ることを目的に，調布市公立学校 PTA 連合会の広報，体育事業，懇談会，講演会などの活動に対し，補助金を交付することにより，PTA 活動の促進を図る。

【5年間の取組予定】 ○継続事業 (事業主管課：社会教育課)

平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度
実施・点検評価	点検評価を受け見直し実施	----->			

主要事業 112 地域文化祭の実施(再掲)

《事業のねらい》

公民館施設を利用する団体が，実行委員会を組織して地域文化祭を企画・運営し，学習成果を発表する場となっている。地域文化祭は，公民館利用団体相互だけでなく，地域住民との交流を深める機会ともなっている。

【5年間の取組予定】 ○継続事業 (事業主管課：公民館)

平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度
実施・点検評価	点検評価を受け見直し実施	----->			

主要事業 113 公民館登録団体の地域参加の検討・充実

《事業のねらい》

公民館登録団体との共催事業を実施したり，また登録団体会員を講師やサポーターとして活用することで，地域全体で社会教育活動を支え，地域活性化を図る。

【5年間の取組予定】 ★新規事業→○継続事業

(事業主管課：公民館)

平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度
	検討・準備	----->		実施	----->

主要事業 114 図書館ハンディキャップサービスの推進(再掲)

《事業のねらい》

ハンディキャップサービスは，点訳・音訳した資料を利用者に提供すること，また来館が困難な利用者への宅配サービスを主として市民の協力を得て実施している。市民自らが調布市の図書館活動に関わることで，生涯学習の充実を図る。

【5年間の取組予定】 ○継続事業

(事業主管課：図書館)

平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度
実施・点検評価	点検評価を受け見直し・実施	----->			

主要事業 115 子育て支援のための家庭教育事業の実施(多様な公民館事業の推進)(再掲)

《事業のねらい》

家庭での教育の欠如を起因とした、子どもの問題行動や子どもへの虐待などは、家庭でどのように子どもを教育したらよいか分からずにいる親が多いことも要因の一つである。特に核家族や若い世代の保護者に対して、学びの場や情報を提供することで、子育て家族の支援を行う。

【5年間の取組予定】 ◎ 拡充事業 → 平成25年度から ◆ 計画事業 (事業主管課:公民館)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施・点検評価	点検評価見直し・実施	----->		【調布市基本計画に位置付けた基本計画事業】	
				新しい計画事業を受けて対応	

主要事業 116 家庭教育セミナーの実施(再掲)

《事業のねらい》

家庭教育に関する知識や意識の向上を図るため、市内公立小中学校PTAが企画、実施する家庭教育セミナーに対して、助言や助成などの支援をする。

【5年間の取組予定】 ○ 継続事業 (事業主管課:社会教育課)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施・点検評価	点検評価を受け見直し実施	----->			

施策 19 地域とともに進める郷土愛を高めるための取組

地域との交流を深めることは、教育とともに、文化・芸術、文化遺産等の保存・継承・活用を促すことにつながる。そこで、文化財や地域ゆかりの場所、ものの情報収集・発信、保存の取組過程において、地域住民の主体的な参加を促進させるような体制を検討する。

主要事業 117 市民の手によるまちの資料情報館事業の推進

《事業のねらい》

調布市地域情報化事業の一環として、市民の目線で、市民自らが調布に関する事柄を調査、整理し、調布市立図書館のホームページを通じて発信している。市民が調布に関心をもつことに通じる事業である。

【5年間の取組予定】 ○継続事業 (事業主管課:図書館)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施・点検評価	点検評価を受け見直し実施	----->			

主要事業 118 深大寺地区地域まるごと博物館(エコミュージアム)構想の推進

《事業のねらい》

地域まるごと博物館(エコミュージアム)は地域の文化遺産等を地域住民が主体となって、まちづくり等に生かす考え方で、文化財保護の立場からすれば、住民参加型の新しい文化財保護手法であり、市内でも文化遺産の集中している深大寺地区を対象に進めていく。

【5年間の取組予定】 ■推進プログラム事業→○継続事業

(事業主管課:郷土博物館)

平成19～21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
推進プログラム(前半)	推進プログラム(後半)				
	次期基本構想に基づく計画事業の策定				
実施	点検評価を受け見直し実施	----->			

施策 20 地域ぐるみの学校環境整備に向けた取組

通学路の安全確保や、児童・生徒が正しい交通マナーを身につけることを通して、児童・生徒が安全で安心して生活を営むことができる基盤をつくる。

また、不審者対策にも取り組む必要があり、学校の安心・安全メールの導入の促進や、子どもの家の充実、スクールガード講習会等を実施し、地域とともに学校の安全・安心に取り組む体制整備を推進する。

主要事業 119 通学路の安全確保の推進

《事業のねらい》

通学路標示板の更新、通学路マップ作成、児童交通見守り員の見守り等を通じて通学路の安全確保を推進するとともに、保護者・地域との連携で通学時の安全対策を図る。

【5年間の取組予定】 ■推進プログラム事業→○継続事業

(事業主管課:学務課)

平成19～21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
推進プログラム(前半)	推進プログラム(後半)				
		次期基本構想に基づく計画事業の策定			
実施	点検評価見直し・実施				

主要事業 120 こどもの家の充実

《事業のねらい》

児童・生徒の登下校時の安全確保を地域・学校・警察等と協力して推進する。また、市内における不審者情報が増加傾向にあることから、市内事業所8団体と覚書をかわし、児童・生徒の安全を守る取組の強化を図る。

【5年間の取組予定】 ○継続事業

(事業主管課:社会教育課)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施・点検評価	点検評価を受け見直し実施				

主要事業 121 スクールガード講習会の実施

《事業のねらい》

「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」の趣旨に基づき、調布市独自に調布警察署の協力を得て、各学校における不審者対応等に向けた講習会を実施してきた。対象者は学校内部だけでなく、保護者や地域で活動している団体にも参加を呼びかけており、今後も継続し、地域ぐるみで学校を守る取組を実施する。

【5年間の取組予定】 ○継続事業

(事業主管課:教育総務課)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実施・点検評価	点検評価を受け見直し実施				

主要事業 138

防災教育の日の制定(命の教育活動の推進)

《事業のねらい》

平成23年3月11日に発生した東日本大震災を機に震災時対応シミュレーションを作成した。シミュレーションの検証や防災教育の充実を図ることを目的として、4月の第4土曜日を「調布市防災教育の日」と定め、学校・家庭・地域が一体となった防災教育と防災訓練を全校一斉に実施する。自らの安全は自らが守るという自助意識と、地域でお互い助け合うという共助意識を醸成し、より効果的な震災時の対応が図れるよう取り組んでいく。

【5年間の取組予定】 ★新規事業

(事業主管課:教育総務課)

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
			実施	――→	点検評価を受け見直し実施